

「国民生活センター見直し」に関する意見

平成23年6月3日消費者委員会

金子 晃

1 見直しの視点および手法に関して

(1) 経済性、効率性のみならず有効性の観点からの見直しの必要性

(2) 見直しは専門性にに基づき客観性ある信頼性のあるものである必要がある。

2 行政および事務事業の継続性に関して

(1) 行政の継続性および新しい環境変化への対応の必要性

(2) 現在の消費者庁は行政の継続性を確保できる主体か

3 消費者庁、消費者委員会および国民生活センターの役割分担と連携に関して

(1) それぞれの役割分担と連携の必要性

(2) 消費者庁と国民生活センターの機能は重複しているか

(3) 消費者庁における政策決定・企画と実施の一元化は望ましいか

(第56回消費者委員会(平成23年6月3日)資料1)

4 国民生活センターの事業者対応と消費者庁の法的規制に関して

(1) 国民生活センターの法的措置によらない対応の意義と効果

(2) 消費者庁の法的権限行使の意義と効果

(3) 両者の連携の効果

5 専門家および関係者を含めた検討の必要性